

**鹿沼CC(栃木)・プレミアムフライデー充実プランを3組限定で開始
地元企業と提携、金曜練習3Hプレー&焼肉&宿泊、土曜1Rプレー**

政府と経済界の肝いりで始まったプレミアムフライデーが2月24日にスタートした。初めてということもあり、数こそ少ないがゴルフ場からはお値打ち感のあるプレー商品企画が発表されている。

ところで、格安感を謳う企画だけでなく、地域振興を含めた企画を打ち出したのが鹿沼グループ(福島範治代表)の鹿沼カントリー倶楽部(45ホール、栃木県鹿沼市、☎0289・75・2131)だ。鹿沼市内の企業とタイアップして「プレミアムフライデー充実プラン」を開始した。

このプランは、金曜日の午後3時半から鹿沼CCで3ホールを練習ラウンドし、ラウンド終了後「炭火焼肉おっつか鹿沼店」(鹿沼市西茂呂3の52の12)で地元産の「かぬま和牛」や米、野菜を使った特別メニューのディナーを楽しみ、リゾートホテル「ニューサンピア栃木」(鹿沼市栃窪1255)に移動してアルカリ性単純温泉のお

風呂を堪能し、同ホテルに宿泊、翌土曜日に同CCで18ホールラウンド(朝・昼食付き)するということだ。

今年12月までの毎月最終金土曜日に実施。毎月3組限定(予約は2人以上から可)で、料金はプレー代、食事代、宿泊代込みで1人1万9800円(2万3800円(季節変動あり))となっている。予約は同CCまで。

鹿沼グループでは、「月末金曜は、ちよつと豊かに」をコンセプトに、ゴルフプレーを絡めて豊かな生活をエンジョイしてもらいたいという。2月に入ってからのお知らせと告知期間が短かったこともあり、初めての2月24日に同プランを利用した人はいなかったが、同グループでは「プレミアムフライデーが世間に浸透し、快適なゴルフプレーが楽しめる春あたりからの予約に期待」していると話している。

一般社団法人日本ゴルフ場経営

者協会(NGK)の大石順一専務理事は、「プレミアムフライデーは、デフレ脱却という大きな狙いがあります。政府や経済団体の狙いをまとめると、①官民一体で「国内消費を喚起」し、「デフレ脱却」と「働き方改革」を進め「豊かさ」の実現と言うこととなります。単なる低価格化による「商品」と「サービス」の提供に陥らない価格面での発想が重要だと考えています。

マーケットでは「安いこと」が強く求められ、商品・サービスの低価格競争が展開されています。この低価格化の負のスパイラルに陥れば、ゴルフ場が自らの首を絞めることにもつながります。金曜日の午後の時間とリンクした新しい

企業と人のつながりが、中四国で5県、5ゴルフ場の業務提携に広がる

ゴルフ場間で業務提携して、会員交流を図る動きはよくあるが、この動きが次々に県境を越えて、中国地区と四国地区の5県で5ゴルフ場の業務提携に広がった。

事の発端は、広島県の鷹の巣GC(18ホール、廿日市市)と高知

いゴルフスタイルや生活パターンを提案することで、より良質な幸福感や豊かさを実感する企画が望まれます。ゴルフを通じた良質なライフスタイルの提案を期待しています」と話している。



県のKochi黒潮CC(36ホール、安芸郡芸西村)の親会社どうしが懇意だったことから、4年前に両ゴルフ場の提携がまとまったこと。そして、一昨年の秋に、支配人との関係で岡山県の東児が丘マリンヒルズGC(18ホール、玉